

千葉県社保協通信

2021年度一 No5 2021年 8月30日号

〒260-0854 千葉市中央区長洲 1-10-8 自治体福祉セカビル3F

TEL : 043-225-6790 FAX : 043-221-0138 Eメール syaho2006@star.ocn.ne.jp

第48 中央社会保障学校 ~Web開催

学習を力に
憲法活かし

8月28日(土)~29日(日)

From 名古屋

いのち・くらし守る政治へ転換を



県内では、千葉土建、年金者組合、千商連、民医連、保険医協会、千葉労連、自治労連、地域社保協などから1日目29人、2日目13人がWeb参加しました。※写真は、自治体福祉センター会場

「コロナ禍、いのち・くらしの危機が迫る~みんなの安心支える社会保障を考える」をテーマに、第48回中央社会保障学校がweb開催され、2日間で全国から719人が参加しました。寄せられた感想文の中からふたりの方の感想を紹介します。

政治をかえる市民の自力をつけよう

第1講座—石川康宏・神戸女学院大学教授の講義は、大変示唆にとんだお話で、あっという間の90分でした。170年前に、世界最古の自由主義憲法を制定し、主権者として考えてきたデンマークと、50年に及び侵略戦争の果てに、70年前に主権在民の憲法を手にした日本とでは、社会の熟成度、個人の社会性の発展が違う。ブルジョア革命によって主権を勝ち取ってきたヨーロッパ、資本主義の発展が早く、自立した個人の形成が早かったヨーロッパと違い、民主主義と人権を求める闘いに勝利していない日本では、戦争放棄の平和憲法が歓迎された一方で、人権、社会権、ましてや生存権、地方自治について理解するのは難しかった。世界最先端の日本国憲法を手にした日本国民は、その飛躍に追いつけなかった。という指摘はなるほどと納得。そして、2015年の市民連合の、平和・立憲・個人の尊厳を掲げた市民運動は、『ブルジョア革命の欠落を埋めてさらに前へ進むものであった』と、私たちを励ましてくれました。

そして最後に、学習なしに個人も運動も成長しない、と一喝。政治をかえる市民の自力をつけようと呼びかけられました。一人一人が毎日学び、個々の力、言葉に説得力を持つと。3か月で5冊ずつ本を読もうと提案。勉強の予定をたててカレンダーに書けとだめ押し。 ↗

最後の一行は、『組織の力量は個人に左右される』でした。耳が痛い!!

もうひとつの講義(第2講座)は、若者を意識した『社会保障入門テキスト』をまとめられた若き学者、村田隆史京都府立大学准教授のお話でした。このテキストは、読み合わせできるように作られていて、とても活用しやすそうです。若くないけど、年金者組合の仲間で学習したいと思いました。(年金者組合千葉県本部 小林玲子)

各分野の運動を学び励まされた

▼第3講座・シンポジウム—「コロナ禍の社会保障、課題は~医療・保健所・保育・支援活動の現場から検証」についての感想です。

保健所の現状、なんでも相談会での生保拒否のように「自己責任論」に縛られている実態報告が印象的でした。各分野での社会を変えようとする運動に励まされました。

全体を通しての感想は、コロナ禍で、遠方からでも気軽に参加できるリモート開催は、時間的にも費用的にもコロナ禍の中、大変ありがたいです。実行委員会の皆様ご苦勞様でした。さまざまな学習交流の場を日常的に開催していただくと嬉しいです。

(銚子社保協事務局 武田清春)

9.5 医療・介護・保健所の削減やめて! いのちまもる緊急行動 ぜひ参加を!!

● JR 千葉駅東口 旧クイスタルドーム付近 17時30分~18時30分

● JR 柏駅東口 テッキにて 17時45分~18時30分

